**ピーすけ版へなちょこお絵かきメモ**

目次

P1．表紙

P2． 目次

P3． 初めに

P4． いろんなペイントソフトの紹介（P．4～5は無料ソフト、P．6～8は有料ソフト）

P9． 私が参考にしているサイト

P10．書籍

**は　じ　め　に**

　お絵かきが楽しくなるために、始める前に……

　絵を描くって、結構大変ですよね。特に、コンピューターで描くイラストは、初めての方にはよく解らないところも多いです。

　私も、最初期の頃は何を使ったらいいのか解らず右往左往していましたが（今もしていますがｗ）それなりにいろんなソフトを試してみて、感じたことを書いてみようと思います。

　また後半は、私が参考にしているサイトや書籍の紹介となっております。デジタル絵に興味のない方は目次を参照して該当頁へ飛んでください。

**色んなペイントソフトの紹介**

☆それではまずは無料のソフトから……

　最高だと◎、良いところ所を○、微妙だと△、ダメだと×で偉そうに評価してみマシタ。

1. Windowsペイント

×　言わずもがなのwindows付属アプリ。付属アプリの例にもれずガッカリクオリテ

ィ。絵を描くのには必要最低限の機能しか備えていません。たとえばwordに貼り

付ける画像なんかをトリミングしたり、画像に赤線を引いたりする程度ならこれで

も大丈夫ですが、基本的に描きにくい＆楽しくない、の二重苦。

　　　これでも上手い人はいらっしゃいますが、非常に労力をかけなきゃいけないです

し、その時間を使って他の練習してた方が良いような気もします。

1. Pixia

※ダウンロードサイト→http://pixia-archive.fan.coocan.jp

○　フリーイラスト作成ソフトではおそらく最も有名なソフト。ユーザーも多いた

めネットでノウハウも検索しやすいです。

△　ただし、インターフェイスが独特なので、特に最初期は戸惑います。慣れてしまえば、有料ソフトとも十分に渡り合えます。

○　また、トーンカーブと呼ばれる機能があるのも有り難いところ。スキャナで取り込んだ画像って、背景が完全に白じゃなかったりするんですが、その灰色の背景だけを白くして線画をより黒く取り出したり出来ます。

　☆　トーンカーブについて→http://digiehon.client.jp/pixia/pixia01.htm

　　　適当な画像を開いてみて、実際にいじくりまわしてみればどういうツールか解り

やすいです。イラスト完成後の色彩の調整もこれで出来てしまう魔法のツールなの

です。

1. Fire Alpaca

　※ダウンロードサイト→firealpaca.com

　☆ここ最近で一気に知名度を広げた、完全無料のイラストソフト。起動のたびイチイチ

広告も立ち上がるのでちょっとウザいｗ

○　Pixiaよりすごく解りやすいインターフェース。とっつきやすさは特筆すべきところ。

○　何より驚くべきは「手ブレ補正」という機能が、マウスにも適用されること。マウ　　　スで線を引くとガタガタになってしまう方は是非。

○　フリーながらキャンパス回転、反転機能もあります。便利なのでぜひ活用を。

　×　ただ、初期のブラシの少なさや、アナログ質感のブラシを再現しようとすると、ビットマップブラシを逐一設定しなければならない等、制限は多いです。先述のトーンカーブも使えません。少なくとも、この説明を読んでめんどくさいと感じるなら

　　　ブラシの追加はとりあえず後回しにしておきましょう。

◎　アナログの線画をpixiaで取り込んで、fire alpacaで色塗りという手順が、一番わ

かりやすくて楽しいかもです。

　　　無料では今一番お勧めのソフト

1. GIMP

　ダウンロード→http://www.forest.impress.co.jp/library/software/gimp/

○　フリー版Photo shopとも言われる、無料最強の写真編集ソフト。マウス手ブレ補正あり。

　×　もともとwindows向けに開発されていないために、とにかくインターフェイスが　独特でpixiaなんぞよりはるかに扱いづらいのが欠点。私は１時間格闘して諦めました。

* あくまで「画像編集ソフト」なので、イラスト作成はやりにくいですが、使いこなせれば高価なPhotoshopを買わずに済むかも……？

☆引き続いて有料のソフト。こちらは全て30日間無料の体験版をダウンロードできるので、気になる方はどうぞ。

1. **SAI**

　ダウンロード→https://www.systemax.jp/ja/sai/

　ニコニコ等のコミュニティサイトで見かけた方も多いのではないでしょうか。

○　強烈な手ブレ補正（ただしペンタブ限定）を持ち、かつ5000円強とお絵かきソフ

トと　　しては安価なため爆発的に広がったソフトです。

○　個人利用であれば何台のパソコンに入れてもおｋという太っ腹っぷり

　○　そのためか、ネットを検索すればノウハウがガッポガッポと出てくる上、関連書籍

も多め。先述のニコニコではイラストの製作途中を録画した動画も多く出回ってい

ます。

　○　シンプルなインターフェースながら、非常に扱いやすく配置されていて、「気軽に

お絵描き」するには最高。

　○　ブラシ設定も結構細かくいじれるので、これ一つあればデジ絵の基礎はほとんど

できちゃいます。

　△　ただし、トーンカーブは無く、画像を編集する機能は弱め。

　×　また、「円」「四角形」「文字」を簡単に描けない等、他のソフトのアシストを必要　　　とする面も。何より、グラデーションツールが無いのがツライ……。出来ればphoto shop等と併用したいところ。

◎　マウス手ブレ補正は無いですが、曲線ツールを使えば反則級に上手く見せられます。参照→http://www.nicovideo.jp/watch/sm1908549

　　SAI＋マウス＋アニメ塗りの組み合わせなら、ペンタブを圧倒できる可能性すらアリ。ただし、綺麗すぎてちょっと嘘くさい絵になります。

1. **CLIP STUDIO PAINT PRO**

　ダウンロード→http://www.clipstudio.net/

△　ダウンロード版ならほぼSAIと同価格帯。出来る範囲はSAIより広いけれど、その分インターフェースは雑多な印象。コピーの時など操作もSAIと比べると直感的ではありません。ちなみに、一つソフトを買うと２台のパソコンまで入れられます

○　正直、いい意味でこの価格帯なのが意味不明なソフト。倍でも買う人居るんじゃな

かろうか。完全版のEXとの違いは、複数ページの管理が出来るか否かくらいなの

で、お絵かきするだけならPAINT PROで十分すぎます。

○　トーンカーブも当然あります。簡単なフォトレタッチならこれだけでも可能かも。

○　そして、最大の売りは3Dデッサン人形。ソフト内に3Dデッサン人形が入ってい

るので、いろんなポーズの参考に出来ます。でも、ちょっとポーズは取らせ辛いw

ぶっちゃけ私は余りこの機能を使ってないです（だからデッサン狂ってます）。

○　ブラシはSAIよりさらにカスタマイズ性に富んでいます。

しかも、公式サイトからは、他の方が作ってくださったブラシや素材（無料コンテ

ンツもアリます）をDL出来るので、あっという間にブラシが増えます。が、初期

設定の水彩ブラシはSAIの方が評価が高いです。

　×　また、公式サイトは欲しいツールを検索しにくいです。

◎　バケツ（塗りつぶし）が高機能。多少線に隙間があっても閉じているものとして塗

ってくれます。ラクチン。この機能のためだけにこのソフトを立ち上げるプロもい

らっしゃるほど。

○　また、更新を頻繁に行っているソフトのため、安心感があります。

○　やはりマウス手ブレ補正機能は無いですが、SAIと同じような曲線ツールがあり

　　ます（SAIより綺麗です）。

　※個人的には有料一押しのソフト

1. **Painter**

ダウンロード↓

http://corel.e-frontier.co.jp/products/illustrator/painting/PainterX3/buy.html

△　デジタルでアナログ画材のシュミレーションをするという点で、おそらく現状最

高のソフト（価格的にも）まさしくプロユーズドというか……殿様商売的な価格設

定が懐に大打撃ですな。

○　しかし、それだけ魅力的なソフトであることも確か。お財布に余裕のある方はどう

ぞ。

×　低価格版であるessentialは機能がものすごく制限されてしまうので、私は嫌いで

した。

　　×　動作が不安定で良く落ちます。

×　マウス手ブレ補正はありません。

1. **Adobe Photo shop CC**

　ダウンロード→http://www.adobe.com/jp/products/photoshop.html

　×　最早言わずもがなの最強フォトレタッチソフト。クラウド方式になって月1000円

というのは高いのか……安いのか。パッケージ版のふざけんなって価格設定には

度肝を抜かれた人も多いのでは。

◎　絵を描くという一点だけなら他のソフトの方が優秀なのですが、その後の編集と

いう点では頭一つ以上突き抜けています。完成度を上げるならコレと言われてい

ます。

○　とにかく高機能。プロを目指すなら知ってなきゃいけない。アマでも知っていた方

が良いソフト。印刷まで考えておられる方はとくに必須。らしいです。

×　ちなみ私はあんまりよく知りませんｗ

×　やはりマウス手ブレ補正はありません。

**-参考にしているサイト-**

1．30秒ドローイング

URL: <http://www.posemaniacs.com/blog/thirtysecond>

30秒ごとにいろんなポーズの**全裸が見れる**サイト。この時間に間に合うようにクロ

ッキーの練習をすると、いい訓練になります。大雑把にぐぐいっと外形だけを描きま

しょう。

細かく描く必要も、上手く描く必要もありません。同サイト内にポーズ集もあります。

体のバランスをしっかり描きたい方は参考にどうぞ。

30秒ドローイングは右脳が刺激されて疲れるので、一日5分とか10分くらいでも

やってればいいんじゃないかと。

ただし、これだけやっていても上達はしにくい（経験談）ので、あくまで描き始める

前のトレーニングだと思ってください。その後何か一つ描いてみると上手くいくときもあります。

私は最近は絵を描き始める前にこれをやることが多いです。

２．人を描くのって楽しいね

URL: <http://www.asahi-net.or.jp/~zm5s-nkmr/>

人物画の基本がギュッと詰まったサイト。ちょっとむずかしいです。

けれど、解らないことがあった時の索引として使うだけでも便利。

サイト運営者の絵はむちゃくちゃ上手いです。

３.ニコニコ大百科、お絵かきこを参照する

製作過程を再生できるので、どういう風に塗っているのか参考にしています。

私はお絵かき掲示板に泉のイラストを投稿していましたが、アレはニコニコ大百科

の方の真似をして描いた部分が大きいです。

お絵かきこの特性上、厚塗りが多めですが、絵は線画があってこそだと思っていた私

にとっては衝撃的な描き方でした。

　　※URL貼り付けが上手くいかなかったので、お手数ですが検索お願いします。

　　ちなみに私はほんわ・かれすさんのファンです

**書籍**

1. ILUSUTRATION 2014

プロのいろんな方の絵を見れます。絵を見てて描きたくなったら描けばええんや。とい

う発想。そして見てるだけで終わりますｗ

個人的な趣味で言わせてもらうなら天野こずえ氏の画集もステキでオススメ。

　　Web上であれば、pixivなどのイラスト投稿サイトを見て回るのも良いかも。

1. 絵になるキャラポーズの法則（著：伊原達也）

コントラポスト、重心という、萌えイラストのポーズの基本について載っています。

　　ぶっちゃけ、この二つの要素についてはググっても良いんですが、私は紙の本が好きな

　　ので買いました。

1. キャラクターの手と足の描き方（著：カネダ工房）

　　リアルな指先とは別にデフォルメされた指も載っていたので。

　　ぶっちゃけググレば（ry

1. 画力デッサン人体と女の子（著：黒坂圭太）

　　アニメキャラの各部位の比率や、パース（遠近法）が載っています。説明文は少なめ？

　　でも、著者は非常に絵が上手いので、半ば参考資料というか、趣味で読んでます。

1. パース！漫画でわかる遠近法（著：デビット・チェルシー）

　　物体を立体的に描く上で欠かせない「パース」という要素について漫画で描かれていま

す。漫画ですが、はっきり言って結構高度なことまで足を延ばしているので、しっかり

学ばれたい方はどうぞ。

　　私は背景苦手なので活かせてませんけれどｗ

1. カラー＆ライト　リアリズムのための色彩と光の描き方（著：ジェームズ・ガーニー）

　　本格的な美術書、という感じ。説明文も非常に多いんですが、整然と説明されていて読

　　み物としても面白いです。カラー苦手な私は、何度も読み返すことになりそう。

　　ちょっとお堅いので、一度立ち読みを推奨。

　　**めんどくさいと思ったら、やらなきゃいい**んです。絵を描くのは自由なんですから。

1. アーティストのための美術解剖学（著：ヴァレリー・Ｌ・ウィンスロゥ）

　　目下読書中の本。どうしても体のバランスが上手く描けないので。いっそ大本を学んで

みようということで買ってみました。

　　本気で絵を描きたい人のための本だなあと思います。一回目を通したら、後は辞書のよ

うに使うことになりそう。私には難しすぎて頭痛いｗ

　　筋肉とかの知識は、どうせデフォルメするので萌え絵の初期段階には必要ないかもし

れないです。

　　大まかにとらえるだけなら他の書籍やサイトでも十分だと思います。

1. その他ポーズ集や背景カタログなど

　実際のポーズを見る方が、一番ズレが少ないですし、たくさんのポーズや背景を見てい

るとインスピレーションが湧く……かもしれないです。

　　ネットで検索しても出てきます。便利な世の中になったもんだ。

☆番外書籍☆

　・***GA芸術家アートデザインクラス***（著：きゆづきさとこ）

　　教本ではないですが、絵を描くのに詰まった時にこの４コマ漫画を読むと元気をもら

えます。画材等の話もあるのでワクワクします。

　　上にあげた本を読むより、まずはコレを読んでほしい。

　　絵を描くのが楽しいものだということは、忘れちゃだめだと思うんです。学校の勉強じ

ゃないんですから。

　　私はこれを読んだ後に、頭の中を空っぽにして描くこともよくあります。

最後に

偉そうなことつらつらと書いていますが、私もまだまだ全く修行中の身です。

私の主観によるところが大きいので、正解と言い切ることはできませんが、どれか一つで

も参考に出来るところがあったのなら幸いです。

ただ、描けば描くほど上達するのは間違いないです。ただ、その描くときに意識しているのとしていないのとでは、経験値が違ってくるので成長の一助となればと思い、纏めさせていただきました。

ただ、何よりもまずは楽しむことが大事だというのは忘れないでください。